

外国語活動事例 「聞くこと」における評価

HAPPY BIRTHDAY! ~友達にカプセルトイを贈ろう~

第5学年 We Can! Unit 2 When is your birthday

聞くこと (イ), 話すこと [やり取り] (イ), 書くこと (ア)

1 単元の目標

- ・自分のことをよく知ってもらったり, 相手のことをよく知ったりするために, 相手の誕生日や好きなもの, 欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取ったり, 誕生日や好きなもの, 欲しいものなどについて伝え合ったりできる。
 - ・アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。
- ※「書くこと」については目標に向けて指導は行いが, 本単元において記録に残す評価は行わない。

2 単元の評価規準


	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> 月日の言い方や, I like/want~. Do you like~? What do you like/want? When~?その答え方について理解している。 <理解> 誕生日や好きなもの, 欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために, 誕生日や好きなもの, 具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために, 誕生日や好きなもの, 具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと やり取り	<知識> 月日の言い方や, I like/want~. Do you like~? What do you like/want? When~?その答え方について理解している。 <技能> 知識を使って, 誕生日や好きなもの, 欲しいものなどについて, I like/want~. When is your birthday? What do you like/want? などを用いて, 考えや気持ちなどを伝え合うために必要な技能を身に付けている。	自分のことを伝え, 相手のことをよく知るために, 誕生日や欲しいものなどについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	自分のことを伝え, 相手のことをよく知るために, 誕生日や欲しいものなどについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

3 指導と評価の計画 (全7時間)

時	主な学習活動	評価			
		知技	思判表	態度	評価規準〈評価方法〉
1	○世界や日本の行事についての話を聞き, 月の言い方を知る。				★本時では, 目標に向けて指導を行うが, 記録に残す評価は行わない。
2	○月名を聞いたり言ったりすることができるとともに, 日付の言い方を知る。				★本時では, 目標に向けて指導を行うが, 記録に残す評価は行わない。
3	○誕生日を聞いたり答えたりする。				★本時では, 目標に向けて指導を行うが, 記録に残す評価は行わない。
4 (本時)	○誕生日や好きなもの, 欲しいものを聞き取ったり, それらについて尋ねたり答えたりする。 友達にカプセルトイを贈ろう	聞			・友達の誕生日や好きなもの, 欲しいものを聞き取っている。<行動観察・ワークシート記述分析>
5	○相手のことをよく知るために, 具体的な情報を聞き取ったり, 誕生日や好きなもの, 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 コミュニケーションを行う目的・場面・状況の設定		聞	聞	・相手のことをよく知るために, 誕生日などの短い話を聞いて, 具体的な情報を聞き取っている。<行動観察・ワークシート記述分析> ・相手のことをよく知るために, 誕生日などの短い話を聞いて, 具体的な情報を聞き取ろうとしている。<行動観察・ワークシート記述分析>

6	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものなどについて伝え合う。	や			・誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合っている。＜行動観察＞
7	○友達にカプセルトイを贈ろう。 カプセルトイの相手を探し、他者に配慮しながら、カプセルの中身についてやり取りする。		や	や	・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものなどについて伝え合っている。＜行動観察＞ ・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものなどについて伝え合おうとしている。＜行動観察＞

4 授業の実際 H:HRT A:ALT

主な学習活動	指導者の活動
1 Greeting 2 Song ・Twelve months 3 Chants 4 Game “Don't say December game” 5 Teacher's Talk ・指導者が誕生日などについて話すことを聞いて、わかったことを発表する。 (やり取りの一部) A: When is your birthday? H: My birthday is~. A: What do you want for your birthday? H: I want ~. A: Do you like ~? 【Today's Goal】友達にカプセルトイを贈るために、誕生日や欲しいもの聞き合おう。 6 Activity ・クラスの友達に、誕生日や好きなもの、欲しいものをインタビューし、聞き取ったことをカレンダーに記入する。  ・活動の途中で、やり取りが長く続いたペアがデモンストレーションする。 7 Looking back	・授業の前半は、本時で児童に使わせたい表現に重点を置き、教師⇒児童ではなく、教師⇔児童の対話を通して、inputを行うようにする。 ・Songでは、月に合うジェスチャーを児童に考えさせたり、Chantsでは、ペアで役割を交代しながら取り組んだりする。 ・児童が、指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ることができるよう、指導者はゆっくりはっきり話す。 ・指導者の話の内容を確認した後、複数名の児童に、When is your birthday? What do you want for your birthday? Do you like ~?と尋ね、これらの表現を十分に聞かせるよ ・誰に、何のために、どのようなことを聞くのか?と、児童が見通しを持って学習を進めていけるように、単元のゴールを児童と共有する。 <div style="background-color: #FFDAB9; padding: 5px;"> 「聞くこと」の記録に残す評価の場面 ◎友達の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。＜行動観察・ワークシート記述分析＞ </div> ・カレンダー式のワークシートにすることで、指導者は児童の聞き取りの様子を、効率よく見取ることができる。また、児童は、記入に手間がかからず、多くの友達とやり取りすることができる。 <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;"> 聞き取った誕生日の日付に、友達の名前、好きなもの、欲しいものを記入する。 </div> ・児童の行動観察から、“What do you want for your birthday?” “Do you like ~?”というフレーズが言えていない様子が見られたため、会話のモデルとなる良いやり取りの例を示し、学級全体で共通理解を図ってから、活動の後半を開始した。 <div style="background-color: #FFDAB9; padding: 5px;"> 中間指導で、いま何ができて何ができないのかに気付く。 </div>

5 指導と評価の工夫

POINT 1 言語活動の工夫

「単元の目標」及び「単元の評価規準」は、単元で取り扱う事柄や、言語の特徴や決まりに関する事項(言語材料)、単元の中心となる言語活動におけるコミュニケーションを行う目的・場面・状況に即して設定している。児童が設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況を理解し、「自分たちもやってみたい」という意欲をもてるような必然性のある場面を設定することで、相手意識と中身のある活動が実現する。児童にどのような力を身に付けさせたいか教師が見通しをもち、実態に応じた言語活動を工夫したことで、児童がコミュニケーションを図ることを十分に楽しんでいった。

POINT 2 記録に残す評価場面を精選する

外国語は、五つの領域からなり、1つの単元で全ての領域を見取することは難しい。単元における中心領域を設定すること、また、学習状況を記録に残す場面は、実現状況を把握できる段階で行うように、場面を精選し、単元の前半は十分なinputを行った。